

令和3年度第2回地域公共交通会議 会議録

日 時:令和 3 年8月23日(月)13:45~15:00

場 所:南伊勢町役場南島庁舎2階会議室

出席者:13名(定数 19 名:出席者うち委任状による代理出席2名)

- ・学識経験者(名古屋大学大学院環境学研究科 加藤教授〔副会長〕)
- ・住民代表(田畑委員〔会長〕、竹内委員、馬瀬委員、南委員、橋本委員:代理出席)
- ・NPO 法人わがら理事長(自家用有償運送) 濱口委員
- ・一般乗合旅客自動車運送事業者
(新任:三重交通(株)乗合営業課服部課長、大新東(株)南伊勢営業所古市所長)
- ・一般乗合旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体
(伊勢志摩交通 松林労働組合長)
- ・中部運輸局三重運輸支局(首席運輸企画専門官)
- ・三重県(地域連携部交通政策課長 代理出席)
- ・南伊勢町(教育委員会事務局長)

事務局:南伊勢町 環境生活課課長 瀬古、生活交通係 係長 長尾、奥村



1、会長あいさつ

2、新委員の紹介

3、議題 1)町営バス阿曾浦大方竈線延伸について

承認

2)町営バス小方竈バス停の移設について

報告

4、意見交換

5、その他

1、会長あいさつ

2、新委員の紹介

(田畑会長)

事項2、新委員の紹介です。今回、三重交通で人事異動がありまして、早川部長さんは1回のご出席で誠に残念ではありますが、新たに、伊勢営業所にもいらしたことがある、乗合営業課の服部課長さんが委員になりました。服部課長、ではご挨拶をよろしく申し上げます。

(三重交通:服部課長)

今ご紹介いただきました。

早川の異動ということで、短期間での交代で本当に申し訳ないです。

私、以前は伊勢営業所におりましたこともあり、随行等で勉強させていただいておりました。こちら南伊勢町さんの交通網をしっかりと組みたいと考えていたところで異動となってしまったのですが、今回、委員と言う形でさせていただけることになりましたので、ご意見もいただき、しっかり考え、尽力できればと思っております。よろしく願いいたします。

(田畑会長)

ありがとうございました。これからよろしく申し上げます。

3、議題 1)町営バス阿曾浦大方竈線延伸について

承認

(田畑会長)

議題1です。事務局よろしく申し上げます。

(事務局)

—資料の確認—

町営バス阿曾浦大方竈路線の延伸(案)について—資料1の路線図—
路線図の阿曾浦バス停の先に、今回お諮りいただく、大方竈線があります。

資料2 ルート案です。資料3のバス停留所(案)も併せてご覧ください。

現在の町営バス「阿曾浦」バス停から終点を「大方竈」とします。

「阿曾浦」バス停の次は「合同ビル」バス停となり、付近は、役場出張所、漁協、農協、区事務所、郵便局があり、いろんな用事ができます。次のバス停は「阿曾浦コミュニティーセンター」で、その次は、住宅の多い「阿曾浦旧中学校前」です。少し歩くとお墓もあります。その次は「阿曾浦弁天」でその先が「赤崎集会所」です。ここは、住所は大方竈になりますが、阿曾浦区民の新興住宅地で若い世帯が多く住んでいます。現在この赤崎地区の子供達は狭く長い距離を歩いて、阿曾浦バス停で小中学校のスクールバスに乗車しています。そして、終点は「大方竈」です。

資料3-1をご覧ください。今回の運行に際し、現在は離れている設置されている、町営バス阿曾浦バス停と、小中学校のスクールバスの待合所を統合し、スクールバス停側に、「阿曾浦」バス停を移設します。この

2つのバス停が道路をはさんで離れていると、町営バスからスクールバスへの乗り換えで、道路を横断しなければなりません。安全性等考慮し、今回移設をしたいと考えています。

資料4、時刻表(案)をご覧ください。今回の案では、往復11本のダイヤが設定されています。

朝一で大方竈を6時45分に出発し、阿曾浦には7時に到着します。これで、7時8分発南島道方行の町営バスに乘換え、南島道方で伊勢病院行に乘換えることができます。それぞれの時刻は、町営バスやスクールバスに接続するようにダイヤが組まれています。

資料4-1には、乗り換えについて表記しています。

例えば、大方竈7時50分発は阿曾浦に8時5分に到着します。この時間帯は、南島道方行、南島棚橋行、2本の町営バスに接続しています。南島道方からイオン伊勢店行の三交バス、(イオン伊勢店への到着は9時50分です)にも乗り継ぎが可能です。

また、お帰りの右中段のイオン伊勢店を14時18分にご乗車いただくと、南島道方と阿曾浦で乗り継いで、大方竈まで帰ってくるすることができます。

資料5は運賃(案)です。町営バス条例にあるように、初乗り5kmまでは100円となりますので、この区間の運賃は100円となります。資料5運賃案の下の参考には「南島道方～阿曾浦」について、距離は3.6km、現在運賃は100円と書かれています。

南島道方から阿曾浦まで町営バスをご利用いただき、その先、大方竈線に乗るには乗換が必要となりますが、乗換えると、更に運賃が100円かかります。

距離的には、阿曾浦～大方竈まで2km程度で、南島道方から5km程度になるのですが、ここに運賃割引が適用できないか、委員の皆様にご協議いただきたいと、考えております。

資料5-1は参考に、南島地区線の運賃表を添付いたしました。

運行開始については、令和4年1月上旬(7日)を予定しており、3月31日までを実証実験として、運行いたします。その実証実験の検証結果も踏まえ、その後、令和4年4月から本格運行いたします。

今回のダイヤを設定するにあたり、現在運行されている小中学校別々のスクールバスについては、教育委員会を通じ、小中学校の校長先生に時刻の調整をお願いし、了承、ご協力いただいています。

阿曾浦区、大方竈区ご協力いただいたこの計画の住民説明会では、町営バスの延伸については勿論、小中学生のスクールバス混乗についても保護者の方に喜んでいただきました。

また、南島メディカルセンターの運行する無料バスについても、乗り継ぎが可能となるよう、調整いただけるとのことでした。地域が協力し、みんなで利用できる町営バスの延伸となりますよう、委員の皆様、よろしくお願いいたします。

運行経路、バス停、運行時刻、運賃と乗継割引についての協議を、会長よろしく申し上げます。

(田畑会長)

はい、ありがとうございました。

阿曾浦区の人口は659人、高齢化率は59.48%、その先にある大方竈区の人口は33人、高齢化率が81.82%と言う地域ですね。小中学生や高齢者の利便性の向上を目指した運行です。

皆さん、何かご意見はございませんか。今回は、橋本委員の代理でこの地域にお住まいの方へ出席いただ

いています。唐突ではございますが、地域の現状等、またこの計画についてのご意見を教えていただけるとありがたいです。

(住民代表 橋本委員:代理出席)

赤崎地区に住んでいます。子供が今は少し大きくなりましたが、2年前ですと、保育園、小学校、中学校と、雨や風の大変な日には、朝から3回のバス停までの送り迎えをしていました。このような計画のお話があることを聞いてとても嬉しく思い、小学生は朝6時50分に家を出ますので、もう少しゆっくり家を出発できるので、子ども達も凄く喜んでいきます。旧中学校地域の保護者さんも、赤崎、大方竈地区のおばさんたちも、大変有難く思い、喜んでみえました。こういう機会もいただき、ありがとうございます。

(田畑会長)

はい、むしろ私の方が、唐突に打合せもなく、ご意見いただいて申し訳なく思っております。ありがとうございました。素晴らしい発言で、地元の声聞かせていただきました。

(三重交通:服部委員)

この路線ですが、かなり道路が狭いですので、車両タイプの説明をお願いします。

(田畑会長)

事務局をお願いします。

(事務局)

大切なところが抜けており、申し訳ございませんでした。

車両タイプにつきましては、ワンボックスタイプのロング車両、14名定員で、その他運賃箱等設置しますと、もう少し乗車定員は少なくなり、12名程度と考えています。

(田畑会長)

よろしいでしょうか。他に、ございますか。

(三重県:羽田委員代理)

1点目、バス停の設置場所については、伊勢建設事務所と警察との協議はすんでいますか？

2点目、実証実験での1から3月の運行となっていますが、検証についてはどの時期に行う予定ですか？

(事務局)

1点目、本日伊勢警察署さんが欠席されていますが、運行についての協議は済んでおります。

2点目、検証については2月末から3月になると予定しています。

道路管理者については、このルートは町道となっておりますので、町建設課との協議となります。最終的には地域との調整も行います。

検証については、今後、協議会にご報告もさせていただきます。また、地元との調整も大切になりますので、利用の少ない時間帯の取りやめや時刻変更等、経費のこともありますので、検証させていただく予定

でおります。

(田畑会長)

他に皆さん、いかがでしょうか。赤崎地区は、道路の幅はどのくらいですか。阿曾浦地区は漁村ですね。漁村の道路はかなり狭いですよね。

(住民代表 橋本委員代理)

漁村です。車同士が対向できるところもありますが、対向できないところもあります。

(事務局)

補足です。この地域は漁村であり、道路幅は狭いです。

地域説明会の中でも、住民の皆さんよりご意見をいただいたのですが、バスの色をできる限り明るくしてわかりやすくしてくれると、対向車も待つて道路を譲りやすくなるなど、今後も地元とも協力、調整しながら、安全に運行できるよう努めたいと考えております。

(田畑会長)

ありがとうございました。

(三重運輸支局:鈴木首席運輸専門官)

1点目、もう一度バス停の警察協議についてと、2点目は運行事業者について教えてください。

(事務局)

1点目、バス停についてはこのあたりに設置すると言うお話しの中で、一応確認いただいております。

このバス停については、標識は設置させていただくのですが、道路幅のこともあり、なかなか上屋のある待合所を設置するのは難しいと考えており、住民の皆様にもご理解いただいていると感じております。

2点目、交通事業者ですが、こちらの運行予算については実はこれから9月議会での議決をいただきたく、計上しております。その決議後、事業者の選定を行い、1月7日の運行に向けて準備したいと考えております。

(三重運輸支局:鈴木首席運輸専門官)

車両は運行事業者が準備すると言うことで良いですか？

(事務局)

はい、運行を委託した事業者で車両は用意していただきます。

(三重運輸支局:鈴木首席運輸専門官)

車両が決まらないと、道路管理者、警察等も判断し辛いと思いますので、その車両が決まって、道路管理者、警察の協議後、会議に提案し、承認を取っていただくと良いと思います。

また、運行事業者が決まらないと判断等難しいのは、運行がどの法律で行くのかという事で、町営バスな

ので、4条かとは思いますが。

他の自治体で、運行事業者が入札で決定してから、「4条」の資格を持っていないとわかり、許可をとるのに運行までの期間が非常にタイトなスケジュールとなった例もございます。スケジュール感もあわせて、検討いただくと良いかと思えます。

(事務局)

これから車両、運行事業者の特定もできた上で、道路管理者、警察等と再度協議し、皆様に承認を取らせていただきます。

(田畑会長)

議会報告、予算確保後、車両等の決定後提案するという事ですね。

今回はこの中でご意見いただき、またこれから最終的に、決議いただくということです。

(名古屋大学 加藤教授:副会長)

一言で言うと、今日どこまで決めるのかが不明確なので、そこを決める。

今日は、時刻表、停留所まで細かく提示していただいています。この会議は公開なので、阿曾浦や大方竈の方がこれを見られると、「これでもう始まる」とお思いいただくと、そうではないという事を、まず、言っておかなければなりません。

これ、どの事業者がするのか、4条なのか、79条なのか、どちらの法律でやるのかもまず不明なので、単にルートやダイヤがあってこんなのがいいのではないかという、計画が今日出てきたというところでは。

事業者が決まって、停留所とかの協議も行う訳ですが、実際に車両をもってきて協議した時にどうなるかという事と、特に停留所は民家の前で住民の許可が出ないとかの問題もあります。これは地元でもきちっと見ておいていただきたいです。

ですので、今日はこういう方向性で行こうという提案をいただいている状態です。

少なくとも、これは4条(緑ナンバー)か79条(白ナンバー)かを教えていただきたい。

(事務局)

すいませんでした。4条です。

(名古屋大学 加藤教授:副会長)

鈴木さんから話がありましたが、4条といっても、いわゆる乗り合い許可を持っている会社でなければできないので、もちろん「貸切」だとか「乗用」、つまり、貸切バスタクシーの会社でも、一定のことをやればできるのですが。ただちょっとそういう場合は時間がかかるということなので、逆算して、どのぐらいからかかれば大丈夫だとかも気になります。今8月下旬ですので、1月7日っていうと、決して長くはないので、段取り良くやらなきゃいけないと思えます。

議会で予算確保してから、事業者選定しなければならないと、9月以降、10月以降になります。

その辺が知りたいですね。そうやってきた時に本当に1月に間に合うのかは、結構ギリギリだと思います。特に4条の乗り合いを持ってないところが、選定された時には、鈴木委員さんには頑張ってもらいますけど。ご迷惑をおかけしてしまうので、そういう不十分な事業者にやってもらうと大変なことになるので、そうならないようにと思って、ちょっとやはりそこはきちんと、書いておかないといけないというのは思って

います。なので、そこをなくしてこれが出てきて走るよとなるといけない。

「夢も希望もないお話し」で申し訳ないです。そこはむしろ逆で、きちんと走らせるためにはこういう段取りをすることが必要だという事を、皆さんがそれぞれ五月雨的に仰ったので、きちんと整理して、提示して、ぜひ自分たちで共有して、間違いないようにしていただきたいなと思いました。

私も確認をするようにします。

あと、途中のところ、私も何回も通ったところになりますけど、狭いけど阿曾浦までバスに乗って接続させようという考え、途中も住宅があり、そこもカバーするという狙いが良いと思います。

ですが、いわゆる途中は本当に行き違いができないところが圧倒的に多く、或いは今までそういうものを守っていないと、そこで何か障害物を道路に置いたりされると、途端に車両も行けなくなるので、そういった道路環境の、「ここは定期バスが通る」ので駐停車など注意する看板を立てるなどの必要があります。そういったことを含めてスケジュールリングをきちんとしていくことです。

あとは1月から3月の実証実験運行と位置付けたとして、そんな3ヶ月では検証ができるのかとは思いますが。適切といえるのかなあとも感じます。1月から始めたら結局会議は、2、3月ですね。

それだと何もわからず、会議して続けるか続けないかを検討しても、結局続けることになるのではないかと思います。やはり現実的なスケジュールではない。運行検証の方もよくわからない。

せめて半年ぐらい実施して、6月の会議ぐらいで、本当にどうするかっていうのを決めて、9月とか10月の報告というのがいい流れではないかと思いました。ちょっとその辺もまだ固まっていないと思いますので次回会議、11月位ですね。それよりも、さっき言った通り、事業者がクリアじゃなかったらもっと前に会議しないと間に合わないのですが。そこまでに今、お話の中で申し上げることを一通り申しました。

(田畑会長)

ありがとうございました。

(事務局)

今後、9月の議会で諮り、予算確保できましたら、随契又は入札にて事業者の確定を行いたいと思います。その決定を踏まえて、各機関と協議し、運行申請について皆様にお諮りいたしたいと思います。

また、運行開始の令和4年1月7日と言うのは、小中学校の子ども達が利用することを想定し、この3学期にバス利用に慣れていただき、4月進級、入学の時期を迎えていただきたいと考えております。4月新学期からの運行ですと、学校にも慣れていない時にバス乗車を開始しなければならず、学校とバスと不慣れな中でのスタートになりますので、この3学期の間で、何とかバスに慣れていただきたいとのことで、この時期の運行開始を設定し、スタートしていきたいと思っております。

少しスケジュール的には厳しいかと思いますが、何とか間に合わせて準備していきたいと考えております。

(名古屋大学 加藤教授:副会長)

後、もう1点ですが、バリアフリーは大丈夫ですか？

(事務局)

今回のこの車両については、バリアフリー対応できておりません。

(名古屋大学 加藤教授:副会長)

そうすると、少し面倒くさいことになります。新しい車両の導入は基本的にバリアフリーでないと通りません。そうであると、特別にこれはこの車両でないとならないとの正当な理由をつけて、適用除外を取らないといけません。それと、別便でバリアフリー車両の担保が必要です。

(田畑会長)

ありがとうございました。いろいろ課題がありますね。

しかし、住民さんの熱望されているところでもありますので、そこは町行政に頑張ってもらって、また鈴木委員さんや三重県さん、熱いご指導をいただいて、加藤先生にお知恵をいただいて、予定通り運行が達成できれば、住民代表さんの感謝の言葉に応えることができます。そこは委員の皆さん、力強いアドバイザーのお力をいただきたいと思いますので、是非ご指導をお願いします。

では、今日の提案、議題1、町営バス阿曾浦大方竈線延伸については、会長に一旦預けていただいて、法律は遵守し、欠落した部分を追加して、申請内容を作成いたしますので、概ねこの内容で承認いただけるようお願いいたします。よろしいでしょうか？

(全委員) 一賛同一

(田畑会長)

ありがとうございました。

(名古屋大学 加藤教授:副会長)

すいません。先ほど乗り継ぎ割引のお話がありましたが、それは何かあるのですか？案は。

これ、南島道方から阿曾浦は3.6kmですが、その先も乗り換えても途中で5kmを越える。でも割引で乗り換えた先に運賃100円はもらわないと言うようなことですか？

(事務局)

はい、基本計画にもあるように、現在町営バスの運賃がわかりにくいとのことで、今回計画の目指すところのゾーン制みたいに、区間で100円と言うことで、乗り継ぎの場合、運賃をいただかないということで、乗り継ぎ割引のモデルケースとしてとの提案です。

(名古屋大学 加藤教授:副会長)

今のモデルケースとのことですが、将来このようにしていきたいとのことを軸にいただいて、その試行として、ここは運賃割引を実施していくと明確にした方がよいとは思いますが。5kmで運賃が上がるというのが原則なので、そこから外れるのは、きちんと「これからこうしていくので、その位置づけとして」としていただかないと、つじつまが合わなくなってしまうので、特例が多くなって、更にわかりにくくなるので、そこはきちんとしていただいた方がよいかと思えます。大事なところですよ。

(田畑会長)

はい、よくわかりました。ありがとうございました。

では、議題2、町営バス小方竈バス停の移設についてですね。事務局お願いします。

(事務局)

方座浦区より「小方竈」バス停の移設について、要望がありました。

小方竈バス停付近に外灯がなく、特に高校生の冬場の乗車について、暗いとのことで、外灯付近に移設してほしいとのことでした。

この地域は小方竈区となりますので、小方竈区の協力もいただき、数メートル離れた、少し広く、外灯に近い場所への移設を行います。

移設は10月1日を予定しています。よろしくお願いします。

(田畑会長)

はい、バス停の移設です。皆様、ご了解いただけましたか。

では、よろしくお願いします。

続きまして、事項書の3、意見交換です。

是非、住民代表さんの、南伊勢町の公共交通や生活に必要な移動について日常的に感じていることやご意見、アイデア、また、加藤先生や国、県、交通事業者の委員の皆さんから、現在の交通対策や状況、近隣市町の交通政策や、他の地域で取り組まれている活動など、教えていただけるような時間を設けました。皆さん、唐突ではありますが何かございませんか。

では、「わがら」の濱口委員。運行を開始されてからの現状報告とか、状況など教えていただけませんか？

(NPO法人「わがら」:濱口委員)

5月の連休明けの認可で、中旬ぐらいから有償運送サービスを開始しました。

現在の実績は、高齢者事業への会員数は現在 57 世帯 73 名の会員がみえますが、これは田曾浦地区だけです。その中で、送迎を希望する会員として、46 名ぐらいが送迎を希望してみえます。

5月の中旬ごろから7月末までの実績で、有償回数が185回で、これは例えば診療所へ送った場合に、大体1時間程度の待ち時間があり、一度引き返します。再度お迎えにあがりますので、それぞれ1回、往復で2回のカウントとなります。185回、走行距離が145.4kmで、これが現在の実績になっております。

送迎先としてやはり断トツで診療所が多く、続いて歯科、続いて郵便局と宿田曾出張所となっています。

とにかく、高齢者事業の中で、一番有難いと言っているのが、この送迎サービスです。

現在はこのような状況となっています。以上です。

(田畑会長)

ありがとうございます。では、竹内委員、いかがお感じになりましたか？

(住民代表 竹内委員)

事業設立の会議から出席しておりますが、大変有意義な事業だと感じております。

他の地域でもこのような事業ができてくれば、地域も活発になると思いました。私も地域の方をお医者さんに連れて行くことがあります。自分が都合の悪い時にはデマンドバスをまた呼ぶからと、デマンドバスの活用なども、耳にします。ああ普及しているんだなあと思っています。

先ほどの大方竈線ですが、私も阿曾浦で「元気シニア体操」という体操教室を毎週やっているのですが、そこにも大方竈地区の方が数名みえていて、このバスの計画について、とても楽しみのお話しをされていまして、是非、実現するといいなあと思います。こういった高齢者事業に関わらせていただいて、その声をこの会議に届ける事が私の役目だと思っておりますので、これからも皆さんの声を届けたいと思います。

(田畑会長)

素晴らしいご意見でした。ありがとうございます。馬瀬委員、いかがですか？

(観光協会 馬瀬委員)

観光協会の立場で会議に出席させていただいております。私も町をかなり離れていて、2、3年前に帰ってきました。正直、バス、町営バスについても知識があまりない中、今回委員として参加して、とてもいろんな事を発信したいと言う状況です。

私は迫間浦に住んでいます。迫間浦は地区内の奥まで町営バスが入っていただけてとても助かっています。この夏、親せきの90歳になる方が、歩いて親せき同士の家を行き来する状況を見ていて、もう少し「わがら」さんのような、手軽にお願いできる送迎などがあるといいのかな、と実感いたしました。

田曾浦の大きな道路しかバスが入っていない中で、これだけの利用があるのかとびっくりしました。

私も、考えていた以上に利用が多いのだと感じ、こういう活動が各地区にあると、浸透していくといいなと正直に感じました。

(田畑会長)

ありがとうございました。濱口委員、こう言ったご意見もありますので、益々頑張ってくださいね。

あと、南委員、よろしく願います。

(住民代表 南委員)

私は、阿曾浦地区も田曾浦地区もあまり知らないのですが、皆さんのご意見を聞いていると、こういう細い道とかしかなかくて、やはりバスなどを考えないといけないなあと感じました。

それとは別で、私は古和浦で、その古和浦のお年寄りのご意見ですが、デマンドバスを利用したくて電話するのですが、思った時間に予約が取れなくて困って見えます。

その意見を言って欲しいと、聞いてきました。よろしく願います。

(田畑会長)

大新東の古市委員、よろしく願います。

(大新東 古市委員)

予約が取れない話は以前からありまして、早期の予約であれば、予約できる状況であると思います。

南島地区の方は、利用直前に割とお電話をいただく傾向がありますので、1週間前の予約を意識いただくと、取れるのではなかといい、予約が取れにくいという状態は解消されるかと思っています。

傾向としてのお話しですので、その方がどのような状態と言っているかはわかりませんが、そうであれば申し訳ないと思いますが。予約を早めにお願ひできれば、取れやすくなるのは間違いないの

かと思えます。以上です。

(田畑会長)

ありがとうございました。それぞれの立場から仰っていただきました。議論し、私も勉強させていただきました。この会議にはいろいろな先生方も、運輸局さんも、交通事業者さんもみえますので、みんなで協議できたらと思っています。

その他ありますか？

(事務局)

今回の議題については、今後修正案を作成し、会長承認いただいて、皆様に書面での決議をお願いします。また、今回はこのような状況の中、対面での会議を開催させていただきましたが、次回会議はコロナの状況もみながら、またご連絡させていただきます。よろしくお願いします。

(田畑会長)

これをもちまして、今日の地域公共交通会議、終わらせていただきます。

閉 会
